

札幌飛行場滑走路延長事業計画段階環境配慮書に係る質疑応答まとめ			資料1（令和7年度第4回札幌市環境影響評価審議会）
・審議状況：事前審査（令和7年12月1日）			
委員名	質問項目	質問内容	事業者回答内容
渡部 会長	過去の経緯（滑走路延長方向）	平成16年に100メートル延長された際、どちら側に延ばしたのか。また、その際に反対側（北西側）ではなく右側（南東側）にした理由は何か。	南東側に100メートル延伸しました。当時の選定理由につきましては、改めて確認いたします。 <b>（以下、後日回答）</b> <b>航空機が安全に離着陸するために設定されている制限表面を確保しつつ経済性の観点から、南東側へ延長した。</b>
芥川 委員	騒音（予測手法）	航空機騒音について、案1と案2では50メートルの違いであり「ほとんど差は生じない」とあるが、どのような予測を行ったのか。数値的な計算結果はあるのか。	現時点では定性的な予測としており、定量的な数値計算は行っていません。位置のズレが50メートルであるため、定性的比較として差はほとんど生じないと結論付けました。
芥川 委員	騒音（環境保全措置）	「環境基準値の範囲内での運用となるよう適切に配慮する」とあるが、具体的に何をするのか。方法書の段階で予測するのか。	今後、飛行経路や機材、便数を考慮した定量的な「騒音予測コンター図」を作成いたします。その上で、環境基準を満たすよう飛行経路や回数の調整等の検討を行うことが配慮事項であると考えております。
北岡 委員	丘珠空港緑地（機能・防災）※意見・要望	丘珠空港緑地は都市緑地として緩衝機能（騒音・排ガス・風雪対策）や雨水貯留機能を持っている。事業による改変でこれらの機能がどの程度失われるか、どう代替するかという観点が必要。特に案1では南東地区の一体性が失われる懸念がある。	今後、事業計画を作成する段階で、緑地の機能や雨水、河川への影響に十分配慮し、管理者である札幌市と協議を行いながら進めてまいります。
北岡 委員	河川（切り回し）※意見・要望	案2で必要となる丘珠川の切り回しについて、流路延長による流速低下で流下能力が満たされるのか、水質や動植物相への影響がないか懸念される。	今後、事業計画作成段階で十分に配慮し、札幌市と協議をしてまいります。
渡部 会長	騒音（冬季の予測）	現在冬季はジェット機が飛んでいないが、アセスの調査・予測において冬季の騒音（ジェット機含む）をどのように評価・反映するのか。	現地調査で現況を把握しつつ、予測においては他事例やメーカー資料等の「原単位」を用いてシミュレーションを行います。季節による騒音レベルの変化はわずかであるため、夏冬別の予測条件は設定しませんが、調査は実施いたします。
芥川 委員	関連車両（交通量）	旅客機が増えることで空港へのアクセス車両も増えると思われるが、そうした予測は考慮されるのか。	供用後の関連車両の予測・評価につきましては、準備書の段階で実施する予定です。
			※審議会後の追加回答部分は赤字